

誓いの碑

命の尊さを心に刻みサリドマイド、スモン、HIV感染のような医薬品による悲惨な被害を再び発生させることのないよう、医薬品の安全性・有効性の確保に最善の努力を重ねていくことをここに銘記する

千数百名もの感染者を出した「薬害エイズ」事件
このような事件の発生を反省しこの碑を建立した

mRNAワクチン接種後の重篤症例に関する 情報開示および全国調査・被害者全面救済 国費執行の透明性と説明責任の履行を求める 署名活動のお知らせ

「誓いの碑」をご存知でしょうか。厚生労働省正門横に建つ「誓いの碑」。

「命の尊さを心に刻みサリドマイド、スモン、HIV感染のような
医薬品による悲惨な被害を再び発生させることのないよう、
医薬品の安全性・有効性の確保に最善の努力を
重ねていくことをここに銘記する」

千数百名もの感染者を出した「薬害エイズ」事件のような事件の発生を反省し
この碑を建立した。

平成11年8月
厚生省

1999年、薬害エイズ事件の反省から建立された「誓いの碑」。

わずか、その3年後、2002年に肺癌治療薬として世界に先駆けて承認されたイレッサで
副作用による死者数734人に上る薬害が発生。

今回、新型コロナウイルス「ワクチン」では、2026年現在、
副反応疑い報告総報告数67,000件以上、うち重篤症例9,325人以上、
死亡症例2,302人以上に上る被害が発生しています。

「医薬品による悲惨な被害を再び発生させることのないよう」と誓ってから四半世紀、
この未曾有の惨禍は、人類はじめてのmRNA脂質ナノ粒子製剤が、「ワクチン」として、
その有効性も安全性も未確立のまま、80%を超える日本国民に接種されて発生したのです。

もたらされた副作用被害は従来の我々の知識を超えています。
一体、何万人の人たちが副作用被害を被ったのでしょうか？

日本国憲法13条に保障される、生命、自由、及び幸福追求に対する国民の権利は、無惨に踏みにじられたままです。
謂れなき長い闘病を強いられている数しれぬ「ワクチン」副作用被害者のこの惨状をどうして同じ国民として座視できますでしょうか？
私たちは、この惨状をこのまま放っておいてはいけません。断固解決しなければなりません。

ここにお願ひする署名は「日本国憲法第16条」に基づいた、損害の救済を求める手続きです。



ご署名は簡単です。
↑のQRコードよりご署名入力用
ウェブサイトにお入り下さい。
画面下の以下のボタンより
ご署名へとお進みいただけます。

署名 / エールを贈る

